



# 八雲町社協だより

ともに支え合う、安心・安全・福祉のまちづくりを目指して

子



# 迎春



年頭のご挨拶

八雲町社会福祉協議会

会長 秋松

等

新年あけましておめでとうございます。

皆様には、明るく希望に満ちた新春をお迎えのことと心からお喜び申し上げます。また、日頃より、八雲町社会福祉協議会の活動に対しまして、温かいご支援とご協力を賜り、厚くお礼申し上げます。

いま、地域住民が主体的に地域課題を把握して解決を試みる体制づくり、関係団体等による総合的な相談体制づくりなど、地域福祉を中心とした地域支え合いを目指す「地域共生社会」の実現に向けた、国の新たな地域福祉施策に基づく具現化が始まっています。

これら内容は、今日まで八雲町社協が取り組んできた方向性と合致するものであり、とりわけ社協本来の事業であります小地域福祉活動の充実・強化が一層必要となってきたと考えております。

こうした中、八雲町社協では、平成三十年からの新三期地域福祉実践計画の基本理念であります「ともに支えあう、安心・安全・福祉のまちづくり」を目指して活動しております。

本年も、各種事業や行事を通じて、誰もが安心して暮らすことができる地域づくりのため、町民の皆様をはじめ、町・福祉関係団体などと連携・協働のもとに、役員一同積極的に取り組んでまいりますので、今後とも一層のご支援・ご協力を賜りますようお願い申し上げます。

結びに、皆様方のご健勝とご多幸を心からご祈念申し上げます。新年のご挨拶とさせていただきます。

# 第7回 八雲町福祉懇談会

去る令和元年11月27日、第7回八雲町福祉懇談会が福祉団体やボランティア団体、民生委員等約90名参集のもとシルバープラザで開催されました。

合同会社うるかむ代表社員、株式会社ステア代表取締役、重度訪問介護事業所生活支援センターステア所長、合同会社自然と発達代表社員、放課後等デイサービス・児童発達支援・保育所等訪問支援サンシャインキッズ代表である池田ひろみ氏を講師に招き、「傾聴ボランティアの心構え～心に寄り添う傾聴～」と題し、講演をいただきました。

皆が幸せになることを願うことが福祉と思っている。今よりもっと幸せになるために自分には何ができるのか。人と人とのつながりがあればこそであり、そこにコミュニケーションが必要です。

その一つとして傾聴があり、相手の話をしっかり聞くこと、わかった気にならないこと、まずは相手の気持ちを「わかって」「わかってほしい」と思う覚悟をすることこれが基本で、とても大変なことですと話されました。

また意見交換会では、病院サポートピア会長鈴木明美様、熊石ボランティア協議会前会長松田紀嗣様、防犯パトロール浜茄子隊代表(隊長)吉原保夫様より、それぞれ団体の取り組み状況や関わりについての発表があり、過疎化が進む中で、自分たちの事は自分たちで解決し行わなければならない、小さな活動かもしれないが、地域住民の皆さんの協力で支えられながら、出来ることに取り組んでいるとの発表がありました。

八雲町の未来を見据えた課題や、お互いを支え合う住民のやさしさにふれられた、充実した懇談会となりました。



じぶんの町を良くするしくみ。

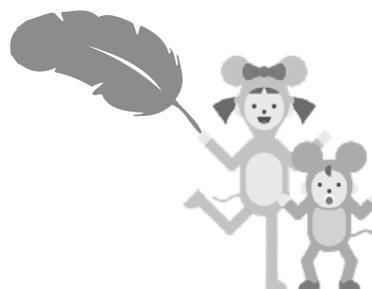
## 赤い羽根共同募金

赤い羽根共同募金運動が10月1日から始まり、町民皆様から善意の募金が集まってきておりますので、11月30日現在の途中経過をご報告いたします。

### 赤い羽根共同募金の実績 (11月30日現在)

実績額 3, 140, 622円 (目標額 3,600,000円)

内訳	戸別募金	1, 423, 150円
	街頭募金	239, 074円
	大口募金	1, 202, 070円
	その他	276, 328円



令和元年度

渡島管内ボランティア活動研究協議会開催!!

No.27

ボラ通

令和元年10月16日(水)～17日(木)の2日間、函館市のはこだて恵山ホテル恵風にて令和元年度渡島管内ボランティア活動研究協議会が開催されました。

渡島管内のボランティア活動を行っている方、興味のある方が集い、互いの共通理解を深めながら、ボランティア活動のあり方をともに考えることを目的に毎年開催され、今年は八雲から12名が参加し、今年は1泊2日の日程で開催されました。

1日目は『災害ボランティアの支援活動について』をテーマに北海道社会福祉協議会地域福祉課長坂本豊氏が胆振東部地震での支援活動の体験談や心構えなどを講演していただきました。全道でブラックアウトというものを体験し、自然災害による怖さを体験しました。八雲では比較的被害も少なく早い復旧でしたが、現地ではまだまだ元の生活に戻れない方がたくさんいること、色々なことを考えさせられる講演となりました。

その後、『渡島のボランティア仲間を知ろう』をテーマに3団体の紹介が行われ、函館市で活動する【NPO 法人シーズネット函館支部】は、充実した人生をおくるため「仲間づくり」「居場所づくり」「役割づくり」の三つの活動を通して「高齢者の生きがいづくり」をめざして活動しており、北斗市で活動する【ほくねっと】は、北斗市内における「ふまねっと」という介護予防運動で安心して楽しく暮らせる地域福祉の増進に資することを目的にサポート活動をする団体です。今年度は八雲町で活躍する【熊石ボランティア協議会】の紹介もあり、会員の牧由紀美さんが会の紹介をしてくれました。熊石地区を中心に活動していて、マリーゴールド1万本を目標に会で育てた苗を各町内会に配布したり、栽培した野菜を高齢者施設に寄付したり、保育園、小学校の子供たちと収穫体験などを通して交流を深めたりし、また先日そのような活動が認められ『ボランティア愛ランド2019in えさし』にて第43回道新ボランティア奨励賞の一般奨励賞を受賞しました。その後夕食を含めた管内ボランティアの交流会も行われました。



2日目は『脳に元気を！～みんなで楽しく脳のトレーニングを始めてみませんか？』をテーマに認定NPO 法人シーズネット生活支援担当部長柿沼英樹氏による講演が行われました。

ボランティア活動する側もまずは自分の健康も大事です！まずは脳からということで、無理せずに、気にせずに、我慢せずにをコンセプトに脳の活性化をゲーム感覚で楽しく講演していただきました。グループ内で他市町ボランティアと「こうだ！そうだ！これは違う！」など色々考え、楽しく話しながら交流することもでき、大変貴重な講演をしていただきました。





令和元年12月5日に 北海道コカ・コーラ
ボトリング株式会社 様より、地域貢献活動
の一環で、八雲社協本所、熊石支所へ合わせ
て飲料水30箱の寄贈がありました。
当社協から八雲町の各福祉施設へ、クリスマ
スプレゼントとして配付させていただきました
ありがとうございました。

社協活動メモ

十月

- 令和元年度渡島管内ボランティア活動研究協議会
函館市
北海道新幹線八雲（仮称）駅周辺整備推進会議
第2四半期定期監査
八雲ボランティア研修旅行
第一回SOSネットワーク事業連絡会議
津軽三味線杉本雅人芸道二〇周年記念特別企画
北の大地に津軽のかまきりチャリティーコンサート

皆さんの善意のご寄付ありがとうございました

ボランティアセンター（愛情銀行）

令和元年10月16日～令和元年12月15日（順不同・敬称略）

一般寄付

- 津軽三味線杉本流 35,000円（平成26年度より継続）
吉田晶子 出雲町 1,000,000円
（有）第一清掃 11,310円（昭和54年度より継続）
内浦二区はまなすクラブ 2,325円（平成22年度より継続）

物資寄付

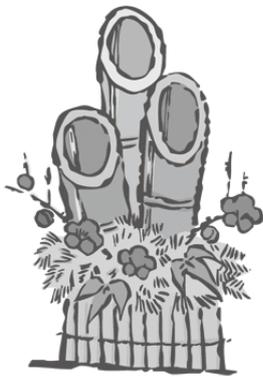
- 北海道コカ・コーラボトリング株式会社
飲料水30箱（昭和59年度より継続）

十一月

- 第六回渡島噴火湾社会福祉協議会連絡会議 鹿部町
HACCP（ハサップ）基礎講習会
熊石地区地域防災力向上研修会
熊石関内町安全安心ふれあいサロンの会
テオーケアサービスマス特別セミナー&福祉用具展示会
函館市
厚生園八雲会「新そばまつり」
八雲ボランティア黒松内福祉施設慰問 黒松内町
地域医療構想調整専門部会
令和元年度北海道介護支援専門員更新研修 函館市
第七回八雲町福祉懇談会
令和元年度渡島地区災害ボランティア組織連絡会議 函館市

十二月

- 令和元年度全道市町村社協事務局長連絡会議 札幌市
八雲保健所精神保健福祉関係職員研修
八雲保健所感染症予防対策研修会
八雲ライオンズクラブ「クリスマス家族会」
第五回理事会
令和元年度第一回渡島管内社協職員連絡協議会研修会 函館市



八雲町社協だより

会報第五十六号
令和二年一月一日発行
二海郡八雲町栄町十三一
社会福祉法人 八雲町社会福祉協議会

TEL 0137-6364-2112
FAX 0137-6364-2160